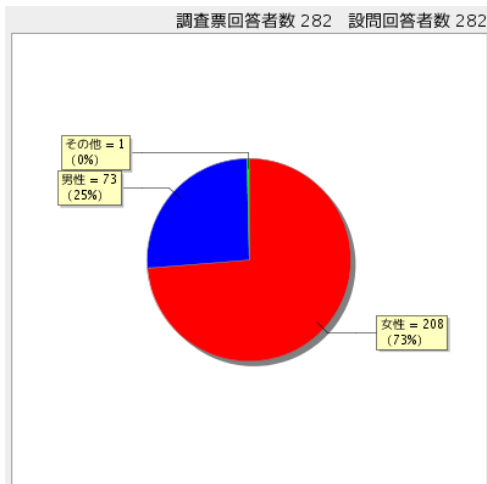


## 留学生教育学会緊急調査（派遣留学；日本人学生等対象）速報

### Q3 回答者性別



### Q6 学校種別

国立大学	104 (36%)
公立大学	7 (2%)
私立大学	161 (57%)
高等専門学校	1 (0%)
専門職大学	0 (0%)
短期大学	0 (0%)
専門学校	0 (0%)
その他	9 (3%)

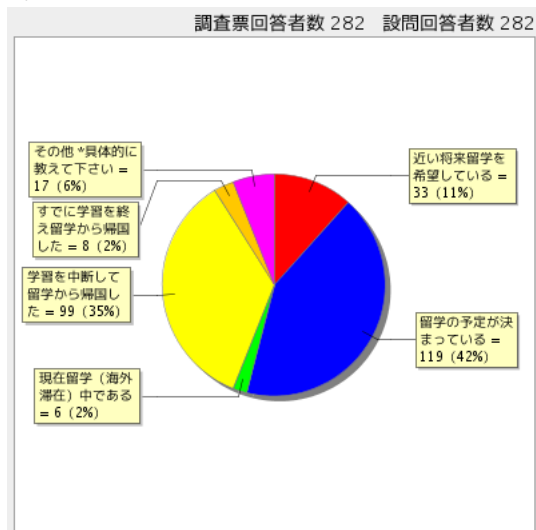
※その他としては「社会人」「高校生」「高校卒業」といった書き込みがあった。

### Q8 学校での専攻/専門

外国語系	150 (53%)
人文系（文学、哲学など）	16 (5%)
社会科学系（法学、経済学、社会学など）	48 (17%)
ビジネス系（商学、ビジネスなど）	22 (7%)
理工系（工学、理学、情報科学など）	17 (6%)
医歯薬保健系（医学、歯学、医療技術など）	3 (1%)
ホスピタリティ系（ホテル・調理など）	7 (2%)
健康・スポーツ系	2 (0%)
芸術系（アート・ファッションなど）	4 (1%)
その他 *具体的に教えてください。	13 (4%)

※専攻・専門については「まだ決まっていない」「農学」「教育学」など。

## Q9 現在の状況



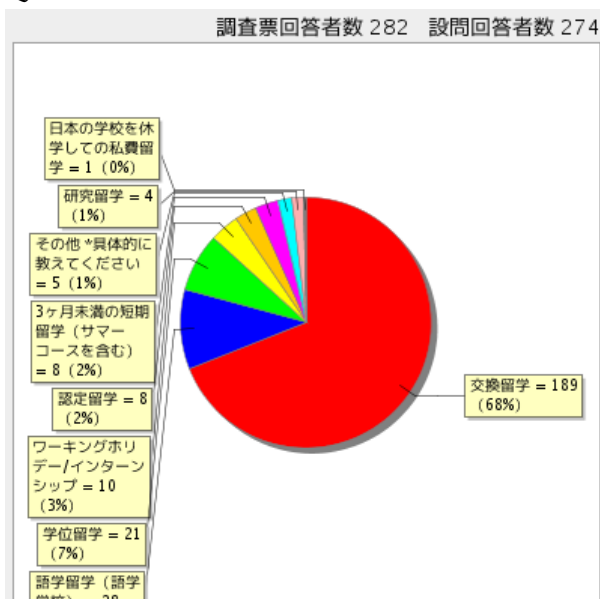
※留学前（近い将来留学を希望・予定が決まっている）という回答者とともに、中断をして帰国したといった回答が多い。その他としては「学内選考が通って現地大学申請前」「相手校の申請許可待ち」「途中帰国してオンラインで受講中」といった声とともに「留学（自体）が中止になった」という声があった。

## Q10 留学についての姿勢



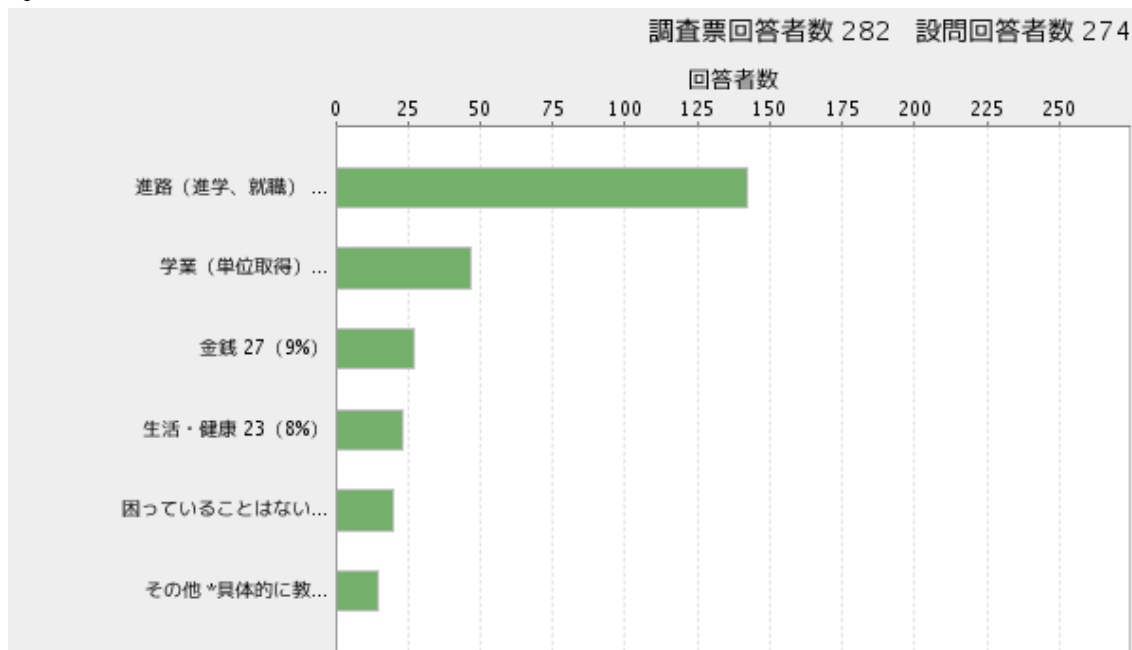
※現在留学中の学生6人中で、帰国せず留学を継続したい学生が5人、帰国して以後の留学を中止したい学生が1人である。残念ながらどの国に留学している学生が「継続したい」と回答しているかは不明だが、そのいずれもが「交換留学」参加中であった。留学を中止しての帰国を望む学生は「研究留学」を行っていた。

### Q13 留学の形態



※おおむね7割の回答者が交換留学・認定留学（ Semesterもしくは年間）の留学を希望もしくは実施中の学生。サマーコースや語学留学とともに、かなりの数の学位留学者が含まれている。その他としては「大学院留学」「教育実習」など。

### Q15 一番困っている事



※その他としては「課外活動が行えない」「オンライン授業で昼夜逆転生活」「アジア人差別が怖い」など。基本的には就活などについて気になっているという回答が多かったが、更なる精査が必要になる。

## Q20 コロナウィルス・留学について参考になっている情報ソース（3つまで）

家族や友達の意見	113
日本の学校やその教職員	180
留学先の学校やその教職員	107
日本のメディアでの報道	138
留学先のメディアでの報道	56
日本語での SNS（Facebook, Twitter, Instagram 等）	55
現地語での SNS（Facebook, Twitter, Instagram 等）	16
留学先のコミュニティ・留学生会などからの情報	13
留学エージェントからの情報	16
その他	6

※その他としては「日本大使館・総領事館」「ホストファミリー」「専門機関から発表された統計的結果と具体的な症状例」といった記述が見られた。学生達が将来を見通すについて日本の学校（学所在籍校）の責任が重いことが看取される。

## Q21 海外留学について政府や学校に期待する支援

様々な意見や学生達の声が寄せられている。以下は代表的なもの。

### ① 留学を中断させられた学生の実際の苦勞

「実際留学が中断になり急遽帰国を伝えられてから2日後に帰国になりました。（中略）自己負担が多いです。また、留学に伴い契約していた一人暮らしの部屋を解約した人も多いのではないのでしょうか。（中略）帰国後すぐに家に帰ることもできず2週間自己隔離ということで2週間ホテルに泊まりました。自費です（関東：私立大：交換留学）」「すでに予約していた航空券のキャンセル料含む帰路の渡航費と空港到着後の二週間の自主隔離で利用したホテル代の支給（中部：国立大：交換留学）」

### ② まなびの保証を訴えるもの

「留学が必須となっている学生のためなるべく安全な留学を提供する。もしくは、保証をする（東北：公立大：交換留学：中断帰国）」「留学が延期・中止になった場合、卒業が遅れないように大学には授業関係などで柔軟に対応していただきたい（中部：国立大：交換留学：留学予定）」など

### ③ 経済的な困難を訴えるもの

「トビタテ！のような、学生にとって金銭面の負担が少ない留学プログラムの枠の増加や、今回中断した人たち向けの留学再挑戦の支援（関東：私立大：認定留学：中断帰国）」「コロナウィルスの影響で収入が減少した家庭などには、留学費用の支援が必要になると思います（中部：国立大：交換留学：中断帰国）」

### ④ 留学の権利の「持ち越し」を訴えるもの

「奨学金などは、もし留学がなくなっても権利だけは保持させて欲しい。一年後など、一度受かった奨学金は時期がずれても受給したい（関西：国立大：交換留学：留

学予定)」「今留学が決まっている人が留学を実現できるようにするだけでなく、来年以降留学を考えていた人の機会を奪わないようにして欲しい。具体的に言うと、留学の枠や奨学金の定員を増やして今予定している人と来年以降予定していた人どちらにもチャンスが与えられるようにして頂けたら嬉しい (関西：国立大：交換留学：留学予定)」

※課程修了について留学経験が必須となっている学生からは「安全な留学をさせて欲しい」というもっともな声が上がっている。しかし交換留学など「あらかじめ枠が決まっている」タイプの留学に関して、その留学権利の「持ち越し」については難しい問題になる。「権利を持ち越す」ことで次世代の留学希望者の権利を圧迫することも考えられるため、どのようにやりくりをつけていくか難しいながらも、何らかの解決策を見つけていかねばならないだろう。そのためにも留学交流に関わるプロフェッショナルとして、以下の様な学生の声に誠実に応えていくことが求められている様に思われる。

「状況が良くなったら各国が寛容な受け入れ態勢を整えてほしい。とにかく留学が続行できるように動いて欲しい。そして早め早めの情報公開をお願いしたい (関東：私立大：交換留学：中断帰国)」

「迅速な情報発信と対応が必要であると考えています。私も留学を中断する上でどうしても自分だけでは決めることができず、学校の指示を待ちましたがとにかく対応や情報発信が遅く、宙に浮いたような状態が長く続いてしまいました。もしもっと早く帰国の話をしてもらえていたら、こんなに混乱せずに済んでいたかもしれません。(中略) 今までにない事態で留学関係のお仕事をされている方々も混乱されているかとは思いますが、迅速な対応がない限り、末端である留学生は何もできずに涙を飲むしかありません。補償金などの金銭的な面は確かに大きな問題ではありますが、それよりも情報発信の迅速さが混乱を回避する上で欠かせないと思います (中部：国立大：交換留学：中断帰国)」